

カラーリーフを活用してください

永久の核のゴミ捨て場、原発延命のための 使用済核燃料の「中間貯蔵施設」に反対しよう 和歌山県白浜町への立地を止めよう

和歌山県の白浜は、有馬、道後と共に日本三大古湯の一つであり、美しい海とパンダの町としても有名です。町域には世界遺産の「紀伊山地の霊場と参詣道」や吉野熊野国立公園を含み、豊かな観光資源に恵まれ、外国からの観光客もたくさん訪れています。

この白浜町が、関西電力の原発から出る使用済核燃料の「中間貯蔵施設」の計画地点となる危険性が急浮上しています。白浜町では、関電がかつて日置川原発計画地点だった土地を今も保有しています。さらに、海岸に近い別の土地を買って占められているとも言われています。30年前に反対運動によって居座り発立地がとん挫した後も、関電の立地部が町内にずっと増やり続け、昨年（2017年）には立地部員を2名から4名に増やし、町内の催しを手伝う等さまざまな動きを示しています。



白良浜(白浜町)

白浜町長は町議会で、高レベル放射性廃棄物の最終処分場については受け入れるつもりはないと明確に述べています。判断どころが、「中間貯蔵施設」については「白紙の状態。判断できる情報もない」とし、拒否を表明しないどころか、関電から話が来れば説明を聞くとの姿勢です。今年（2018年）2月には和歌山県の8つの市民団体が白浜町長に申し入れましたが、受け入れ拒否の意思を示しませんでした。和歌山県知事も町長と同様の姿勢です。このようなことから白浜町が具体的な計画地点となる危険性

が高いと言わざるをえません。「中間貯蔵施設」に運び込まれた使用済核燃料を、30～50年とされる長期貯蔵後に運び出す場所はありません。子孫の世代に行き場のない核の負担を押しつけることとなります。また、輸送ルートに沿った地域の住民に危険をもたらすことにもなります。白浜町を永久の核のゴミ捨て場にしてはなりません。関電が白浜町を「中間貯蔵施設」の計画地点とするのを止めましょう。

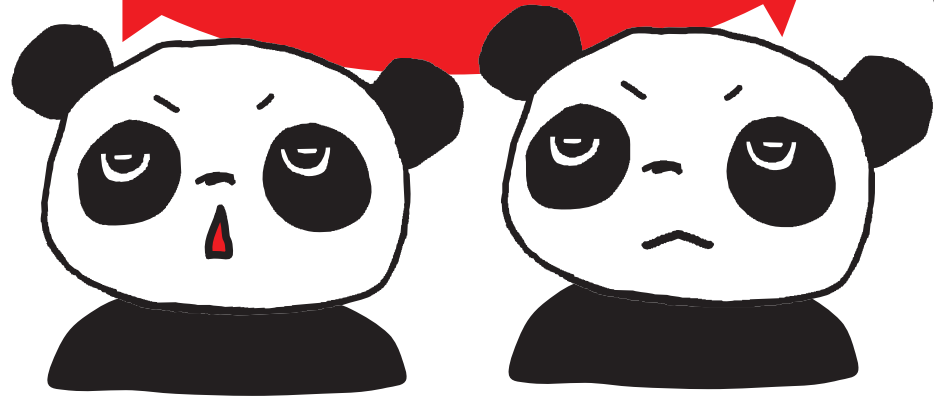
今年12月までに「中間貯蔵施設」の計画地点を示すことが 福井県知事の大飯3・4号再稼働同意の条件

昨年（2017年）11月、関電は、使用済核燃料の「中間貯蔵施設」について、今年中（2018年12月までに）、福井県外に具体的な計画地点を示すと福井県知事に約束しました。これは、知事が大飯原発3・4号の再稼働にあたり「県外立地について答えを出す必要がある」と求めたことに応じたものです。すなわち、「中間貯蔵施設」は大飯3・4号などの原発を稼働するための施設であることは明らかです。逆に、年内という短期間に関電が計画地点を示すことができれば、知事との約束に違反したことになり、大飯原発を動かしてよいのか、行き場のない使用済核燃料を増やしてよいのかという問題が焦点として浮上することになるでしょう。



白浜に 使用済核燃料の中間貯蔵施設を 作らないでください!

出前学習会
座談会もやります
声をかけてください!



<カラーリーフの内容>

- 今年12月までに「中間貯蔵施設」の計画地点を示すことが、福井県知事の大飯3・4号再稼働の同意条件
- プールの空きが少なくなる中、原発延命のための「中間貯蔵施設」
- 「中間貯蔵施設」は永久の核のゴミ捨て場となる
- 蓋を開けて点検・修理できない・・・安全は全く保証されない
- 南海トラフ巨大地震・津波に耐えられない
- 京都府、兵庫県日本海沿岸市町等は拒否。白浜への立地を止めよう

A4版 4頁(A3二つ折り)
発行:避難計画を案ずる関西連絡会 2018年4月

カラーリーフのご注文は、連絡先団体をお願いします【頒価】●1部20円 ●50部以上は2割引 ●100部以上は3割引 ※郵送の場合、送料のご負担をお願いします



グリーン・アクション
京都市左京区田中関田町22-75-103
TEL: 075-701-7223 Fax: 075-702-1952

美浜の会
大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階
TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581

原発なしで暮らしたい丹波の会
京都府南丹市園部町船岡薬無8-2 こだま方
TEL:090-3862-2468

脱原発はりまアクション
TEL:079-421-2853

原発防災を考える兵庫の会
TEL:080-5707-7908